

友達

彼三十八才 齒科医師

いっしよに 弟の父 衛生士 若い男の子

つれづれに 行くところ

いつか三人 来てくれた

テーパーの 前に するとは

はやく けいせいで 大さわぎ

エイセイ 世に行くと

オシロウの 写真に

おりに来た ンボと フカサの

どんと色 次々 ありてくとの

何本 びよりの

ちりちり 永くも 卒業して

かたぐい 手紙を 出ると

と 次々 真田の山

次の日

今度は 外国の 世渡り話

この ちのちが 美人よ

美人で 見るく もつて 雪国を かい

その 人の 心 出て いる

とこれ又 大變

ボクはさうう方か すき比厚し

と悟りけづく

そんな事自か 八年つづいた

あの八年は 此のしかつた

と手紙にもかいてあつた

栗室で ありたいわ 要するに 上り 栗室での生活

かほい 有り 菜若料理 にも栗室

フいで ツレの ジュエリー を作らう

その向 二度ほど だつて 此のたより

リッ トマン ショール (妻) でおみなのわい

で 女はみ へうつり 純羊場 今までの位い

と海力に 限界 ありかつた

うさ 尋いの 居ヤリ 此のわいと毒

で 閉居した

そこで 運らく と だえマ 三年

彼はいい 返還 だつた

20 25  
2/9